

日清紡グループのマスク関連製品について ～モビロンテープは増産、インドネシアでガーゼ生地、マスクも販売～

新型コロナウイルスの感染拡大で、マスク不足が深刻な問題となっています。日清紡グループでは、日清紡テキスタイル株式会社を中心とする繊維事業で生産体制を見直し、マスク関連製品の生産を優先して取り組んでいます。

1. 医療マスク用モビロン®テープの増産について

日清紡テキスタイルのモビロンテープ（ポリウレタンエラストマー）は、その伸縮性、耐久性、ラテックスフリーなどの特性から医療マスクの耳掛け部材として採用されています。新たな設備も追加し、医療マスクメーカーの増産に対応してまいります。今回の設備追加により、医療マスク用モビロンテープの生産能力（年間）はマスクで約6億枚分になります。

また、一般マスクにも使用しやすいように、医療マスク用モビロンテープをリング状にした製品の販売も開始しております。

2. マスク用ガーゼ生地の生産について

インドネシアのテキスタイル生産拠点※では、ドレスシャツ用生地の生産ラインを転用して、マスク用ガーゼ生地の生産を開始しました。

現在のところ、マスクで最大200万枚分の生地を生産する予定ですが、引き合いも相次いでおり、可能な限り積極的に需要に応じていく方針です。

※ PT.ニカワテキスタイルインダストリー、PT.日清紡インドネシア

3. マスクの販売開始について

東京シャツ株式会社では、マスクの入手が困難なため、店舗従業員用に形態安定加工を施したドレスシャツ用の綿100%生地を使った自作マスクを着用させています。

今回、マスク不足の解消に少しでも役立てばとの思いから、一部の店舗（BRICK HOUSE by Tokyo Shirts など）で形態安定マスクとして販売を開始しました。大都市圏を中心に取扱店舗を順次拡大していく予定です。国内のオーダーシャツ縫製工場が生産し、月2万枚を販売する計画です。

以上